年間授業計画　新様式例

第四商業高等学校（第１学年）

教科：　公民　　**科目　公共**　　単位数：　２　単位

◆対象学年組：第１ 学年　Ａ 組～　Ｅ 組

◆使用教科書：　高等学校　公共　これからの社会について考える(数研出版)　）

◆教科　公民　の目標：

【知　識　及　び　技　能】：　政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

思考力、判断力、表現力等】：　多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりするカや、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

学びに向かう力、人間性等】：　現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人間としての在り方生き方についての自覚や、平和のために各国民が協力し合うことについて自覚を深める。

◆科目　公共　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 　公共的な空間における人間としての在り方生き方について主体的に考えることができている。	第１節 西洋近現代の思想 第２節 現代の諸課題と倫理	・地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 ・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できている	○	○	○	5
	第２章 公共的な空間における基本原理 　人間の尊厳や日本国憲法の基礎を理解し、自らの生き方と結びつけることができる。	第１節 民主社会の基本原理	・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解できている。 ・このような基本的原理を考察することによって，個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	第２章 公共的な空間における基本原理 　人間の尊厳や日本国憲法の基礎を理解し、自らの生き方と結びつけることができる。	第２節 日本社会の基本原理	・日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 ・日本国憲法の基礎にある考え方に着目し，公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。 ・日本国憲法で保障されている権利が理解でき，自らの生き方と権利を結びつけることができている。	○	○	○	8
	第３章 ルールをつくり守る私たち 　公正な裁判について理解し、その意義を考えることができる。	第１節 法と契約 第２節 司法参加の意義	・公正な裁判には司法権の独立が必要であり，国民の参加が大切であることが理解できている。 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 ・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 ・模擬裁判などを通して，司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2学期	第４章 政治に参加する私たち 　国内政治や国際政治の仕組みや現状、その課題について考え、考察することができる。	第１節 政治参加と民主政治の課題	・地方自治や選挙の仕組み，政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 ・選挙制度の違いによって，政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 ・自分が理想とする選挙制度を選択することができる。 ・模擬投票などを通して，選挙に積極的に参加するなど主権者としての	○	○	○	6
	第４章 政治に参加する私たち 　国内政治や国際政治の仕組みや現状、その課題について考え、考察することができる。	第２節 国際政治の動向	・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。 ・国連の現状と課題について考察できている。 ・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	第４章 政治に参加する私たち 　国内政治や国際政治の仕組みや現状、その課題について考え、考察することができる。	第３節 国際政治の課題と日本の役割	・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。 ・核軍拡から核軍縮への流れ ・現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 ・留学生や国際 NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断できている。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明できている	○	○	○	6
	第５章 経済活動を行う私たち 　経済の仕組みや経済体制とその課題について理解し、考察することができる。	第１節 経済のしくみと産業の変化 第２節 市場経済のしくみと金融	・市場経済のメカニズムが理解できている。 ・各種経済指標を理解し，その指標の動向を読み解くことができている。 ・金融のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・需給曲線を使って，どのような場合に価格が変動するのか考察できて	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	第５章 経済活動を行う私たち 　経済の仕組みや経済体制とその課題について理解し、考察することができる。	第３節 財政と社会保障	・政府が経済に果たしている役割を理解できている。 ・財政のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・社会保障について理解できている。 ・自身の老後生活を予想し，租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察できている。	○	○	○	6
	第５章 経済活動を行う私たち 　経済の仕組みや経済体制とその課題について理解し、考察することができる。	第４節 国際経済の動向と課題	・貿易や外国為替相場について，そのしくみが理解できている。 ・戦後の国際経済の流れが理解できている。 ・発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。 ・経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し，それが日本経済にどのような影響を及ぼ	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 70